

6月の全校集会

生徒指導主事 奥泉 清人

新年度がスタートして2か月が経ちました。6月の全校集会では、4つのことを話しました。

「①自転車の乗り方」ですが、先月の全校集会でも話したのですが、登下校時に横並びで走行する生徒がいるようです。地域の方からご連絡をいただく場合もありますし、先日津幡署員の方から注意を受けた例もあります。ご家庭でも、もう一度ご確認ください。

①自転車の乗り方について
横に並んで走ってはいけません。

×並列走行

○縦列走行



「②休み時間の過ごし方」については、最近遊びやふざけから怪我に発展するケースが増えています。怪我につながるような遊び、ふざけをやめ、落ち着いて休み時間を過ごしてほしいと思います。

「③カーディガンについて」は、津幡中学生徒全員が持っている生活ノートの一歩に書いてあることを確認しました。今年度よりカーディガンの着用を認めております。色は黒と紺の無地となります。よろしくをお願いします。

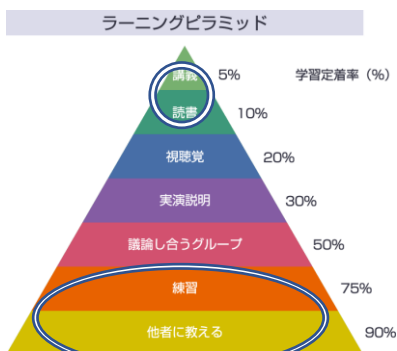
「④生徒だけでは行けない場所」について確認しました。ご家庭でも、どこに、どんな用で、誰と行くのかなどのご確認を、よろしくをお願いします。

学習の定着率を高めるには?!

研究主任 鶴山 達也

本校では授業や学習における目標として『自ら考え表現できる生徒の育成』を掲げて、全職員で授業力の向上や生徒の学力向上に向けた取り組みを行っています。その中でも、全教科を挙げて取り組んでいるのが、【自らの意見を表現する力】の向上を図るためのグループ活動です。

自分1人の力では気づかない考えや解決できない課題、思いつかなかったアイデアも、友達との関わり合いの中から、ヒントが生まれたり、逆に友達に自分の考えを伝えることで、自分の意見がより整理され、伝えたいことが明確になることもあると思います。



左の図は学習方法と定着率の関係を表したグラフです。自分の意見を表現せずに、友達や先生の意見を黙って聞いているだけでは、5%の学習効果しか得られません。しかし議論しあうグループ活動や、他者に自分の意見を表現する活動を通すことで、学習効果は一気に跳ね上がるのです。

意見を発表するときは、聞き手側の立場に立って、伝わりやすい説明をすることが大切です。結論先行で話すことや、目線を上げることなど、ほんの少し意識するだけで伝わり方は大きく向上すると思います。それに加えて、聞き手側もしっかりと聞くだけでなく、自分の意見と比べながら聞くなど工夫はできるはずです。みんなで質の高いグループ活動をしていきましょう。

結論先行型のメリット

私は～と思います。なぜなら…



相手に伝える伝え方



安心して言える聞き方

